

死亡の場所 高雄海兵團大岡山派遣隊

死亡年月日 昭和二十年八月二十五日 時刻不明

死亡時の状況

石の通り承知してゐるから申さ致しませう

昭和二十年四月三十日

申入籍番号 第〇級海軍中尉氏名

本籍地

現住所

所属部隊 高雄海兵團附

備考

一 本調査員死没者の身上関係一切を処置するに当り、今般
一 調査員は、詳細に記入して下さる。
二 他人が、中、以て承知した事項、其の他家、若し、ある、事、新、
三 旨、詳細に、記入、下さる。

步路

小生元寇自陣當に突一野我病院到官の情を推察し
 先般般志りやうと望み統一し、新舞鶴局に復り方
 以報告し、置き、あるが、報告一紙をうけたる、こ
 事、か、仲子是の情況を知りて中、上へ、バ、と執り、
 能助、我、果、た、る、合、議、を、當、北、米、現、海、軍、に、等、告、す、
 昭和二年八月九日。雄基、焼、り、給、り、了、す、
 と、交、款、へ、贈、送、中、に、下、院、を、實、際、騰、昇、破、片、創、を、受、け、
 我、友、に、依、り、才、以、故、意、を、盡、し、施、さ、れ、八、月、十、二、日、舞、鶴、局、の
 病院に転送す。更に、成、野、理、學、病、院、に、転、送、さ、れ、も、八、月、
 二十日、成、野、に、令、院、し、外、科、病、院、に、再、会、し、葛、台、珍、齋、春
 茂、に、万、全、を、誓、し、ま、す、が、膝、創、は、次、第、に、悪、化、の、一、路、を、辿、り、
 終、に、八、月、廿、五、日、平、步、野、中、に、復、回、り、息、を、吐、き、ま、す、と、

當時ノ軍ノ指揮下ニ在リタル遠族ハ遠隔西ノ谷ニ自
新院 義経林ニ埋葬シ墓所モ有リ、考リ、あり、左ノ所小光
ハシヘリ中ニ此歿氣事ナクシ報老モ非常ニ以テ之ヲ中ノ親
族ノ中々中ニ推察申上ル、恐、無量ニ仰、座リ有リ
何年ノ報ニ至哉、我々多事ナリ、先ハ此天御ノ用、按、下ノ事ナ
キ様。

様

7

大分縣

死亡番号

六二六四

20.8.26	戦歿年月日
病死(元山)	戦場
病死	所歿
死	死因
	本
	籍
無	遺言有
一水	官(職)
	氏
	名

申告者

元山特根

上水

佐世保地方復員残務處理部

死 亡 認 証 明 書

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料										
死 亡 知 っ た 方 法	遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	死 亡 諸 元					区 分	現 住 所	本 籍 地	所 属 部 隊 通 称	所 属 固 有 部 隊
			死 亡 区 分	発 病 時	傷 病 名	死 亡 場 所	死 亡 日 時					
射 殺 され 事 実 を 現 場 で 確 認 し た			戦 死		ソ 連 兵 に 射 殺 され た	元 山 興 南 の 間 (大 々 原 川 の 手 前)	昭 和 20 年 2 月 午 前 5 時 30 分	内 全 縣 府 道 都				元 山 親 衛 隊
死 亡 者 と の 関 係												
全 部 隊 員 本 人 を 長 く 知 っ て い る												
所 住 現 所 部 隊	死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料											
元 山 親 衛 隊	武 解 を 受 け て 興 南 に 向 け 行 軍 途 中 本 人 は 下 痢 を し て 排 便 し よ う と し た 際 隊 位 を 离 れ た 時 見 張 の ソ 連 兵 が 逃 走 と 誤 認 し て 射 殺 され た 本 人 が 射 殺 され た 事 実 を 現 場 で 見 証 可 能 だ け だ け だ											
名 氏 級 階	続 柄 () 妻											
上 等 兵 傷 兵	種 兵 種 役 整 備 兵 上 等 兵 姓 名 氏 年 月 日 生											

裏面記載上の注意を見て書いて下さい (※及び裏面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら遠慮なく調査官に聞いて下さい)

書明証認(確)現亡死

者供提料資		料 資 の 者 亡 死								
法方たつ知を亡死 射殺されたる事、実を現 場で確認した	遺留品の 処理の	遺骨及び遺 物の処理	元 諸 亡 死				区 分	留守担当者の 住所	本籍地	所属 部隊 通称
			死亡区分	発病時	傷病名	死亡場所				
			戦死		ノ連兵に射殺された	元山―奥南の間(大きな井戸の前)	昭20.8.27.午前5時30分	全 (都道府県)	[REDACTED]	元山航空隊
係関のと者亡死 全部隊が本人を 良く知っている。			※甲	※	※甲	※甲	容 度	右	[REDACTED]	親所部祖
隊部属所 元山航空隊	所住現 [REDACTED]		死亡当時の状況及び参考資料 武解を授けて奥南に向け行軍途中本人は不意として排便しようとして隊伍を離れた時見張りの連兵が逃亡と誤認して射殺された。 私は本人が射殺された事実を現場で見ることが近付けなかった。						兵種 整備兵	役職 上等兵
氏親階 上等整備兵									臨時の時亡死 整備兵	氏名 [REDACTED]
									留守担当者 [REDACTED]	年 [REDACTED]
									続柄(妻女) [REDACTED]	月日生 [REDACTED]

姓名 王連行

死者調書

2182

(月)



本籍地

遺族住所及親屬

所屬部隊

役種

官等

戰地到着年月日

勤務ノ概要

受傷(疾病)年月日

受傷部(病名)

受傷(要所)文

[Redacted column containing names and details]

朝鮮京城道元山海軍航空隊

兵種 航空隊

二整備 元月 入籍番号

昭和二十二年二月頃

特攻隊裝及練習訓練(能行作業)

露光號投

元正年正月

正月初八日 現以航軍營於秋討逆

記

武裝解防 為匪賊所劫 無抵抗 又上

右 申 案 大

昭和十一年 八月 三日

申	本籍地	
寄	取郷先	右一同
者	所屬部隊	朝鮮成南元山海軍航空隊
氏	名	官 曹 二 生 曹
		入籍番号

終

82

6532

死亡年月日	昭和二年九月	死亡場所	朝鮮京城府	戦死
死亡時の状況	戦死			

右の通り承知してめまされ申上致します

昭和二年九月 月 日

申入籍名	等 氏 名
本籍地	朝鮮京城府南道元山府
現住所	朝鮮京城府南道元山府
所属部隊	朝鮮京城府南道元山府

備考

一、本籍書ハ死没者の身上関係一切を處理するものであるから慎重に
 其詳細に記入して下さり
 二、他人から聞いて承知した事項ハ其の旨未尾餘白に記入して下さい

通達

昭和二年九月 日

昭和二十一年四月十五日

舞鶴上陸地連絡所長

各優殘務處理部 復員業務課長殿

死歿者之闕才子并通知（等辦）

左記はナホトカより舞鶴に販運した各頭書の者の申告によるものである。

記

等 級 氏

名

誠

郑

九

老山空一主

華成



正元
分政

病者

死之集

卷之七

卒

卷四

地

泥

7

陳子昂

痾死

急
性

209

痛者
是汗

10

1

1

10

1

（一）

右

入團(隊)年月 壬午月入隊役 種 召(國民兵)

兵種水兵科

等級一水

氏名
生年月日

香
之
香

內
地
港
月
日

外着年月日

勤勞概要

癸卯年月日

病名赤痢

伏邪病時
死の

壬午月時刻
昭和二十年八月三十日午後六時

元山女学校(假収束所)

死と分 葬死

死時の状況

元山女学校収容所には医療施設もなく遂に死す。死後頭髪を切り遺髪とし所持の衣類はソ連側に托した後富野へ向け出發す。

右の通り承知してありますから申上致します。

昭和二十四年十月十三日

申告者の
入籍番号

等級 兵曹長 氏名印

本籍地

現住所

左

所属部隊

元山特別根拠地隊 (オニム隊先任下官)

復員年月日

昭和二十四年十月十一日

備考 遺髪は上陸地(舞鶴)で係員に渡し、在留所に保管置いた

43865

死後有親書

本籍地	[REDACTED]		
現任所	同		
所屬部隊	香港特別根據地隊付第一〇七震洋隊		
入隊年月	昭和十八年五月	役種	飛行兵
官等級	軍飛裝重	氏名	[REDACTED]
附記	昭和二十年二月三日	入籍番号	[REDACTED]
勤務概要	昭和二十年二月十四日 ④艇路策員トシテ香港地區南丁島ニ基地ヲ 設置シ香港地區ノ警備ニ服務セリ		
負傷(受傷)年月日	昭和二十年八月三十日	傷部及腹部	爆彈ノ片創
負傷(負傷)部位	⑤艇整備中英國船行機ノ爆雷ニ依リ致命 傷ヲ受ケテ死ス		
死年月日	昭和二十年八月三十日	死時	香港地區南丁島

七

昭和二十一年四月二十三日

本籍地

現住所

所屬部隊

氏名

石岡

香港特別行政區

[Redacted]

官号

入籍番号

中尉

[Redacted]

備考

- (一) 本調書ハ部隊長又ハ強要取扱者等其心ヲ復員局今軍部長宛通報スベキ責任者アリ知得タル者ハ認ムルニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍ノ特務士官准士官下官兵ニ付記載ス
- (三) 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス
- (四) 知得タル範圍ニ於テ未ダ得テ限リ詳細ニ記載ス
- (五) 他人ヨリ聞ク事知多シ事項ハ各當該欄ニ相手方ヨリ記載ス

張

卷之四

建佳所

否同

新編

不明

入
煙
年
五

等綴

華亭縣志

1993

品

文選卷之五

平定縣志

為地志

平江府志

全
卷
一
百
一
十
一
卷

德。系。

死亡番号
X052

昇天

張和子年八月二十日頃

為又石寶仁刊

細菌性赤痢

100

終身直後、結髮永无分、タメ發病、尚早、廿三日北野

福岡

縣

現病入復傷時

病入復傷時

年 月 日

勸誘、概要

年 月 日

内地港務

年 月 日

入國 月 日

新島部隊

現住所

本籍地

死殺者調書

全石

石原島野商隊

隊

隊

隊

隊

二〇、一、四

殺種

失種

上水

紙令

失種

内地港務

隊

隊

隊

隊

石原島野商隊勸誘中、マコリヤ、三田、二〇、九、三

マコリヤ

死殺者調書

112

6776

6541

明治七年 月 日

二〇・九・三

死時の状態

経致ありさうやに附し

右の通り承知しておますから申告致しませう

昭和 年 月 日

申告者

小野 等 殿

氏名

本籍地

現住所

所属部

石川県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地

備考

一 本報告書は死因者の身上関係一切を処理するものであり、慎重に且つ詳細記入して下さい

二 他人から聞いた承知した事項、其の他参考となるべき資料はあ

一 旨末尾餘白に記入して下さい

お遺骨は初回死より世帯に在る中、の處、公認死としてあり、
公報も発表しあらず、あるに就て死として公報せよ、きもつらき
お急ぎな後、相談は

初回死より世帯

一 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

舞鶴上陸地連絡所表

各復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（第 號）

左記は、ナホトカより、群鶴に歌還した各頭書の者の申告によるものである。

信

遺愛發送者

先

53